

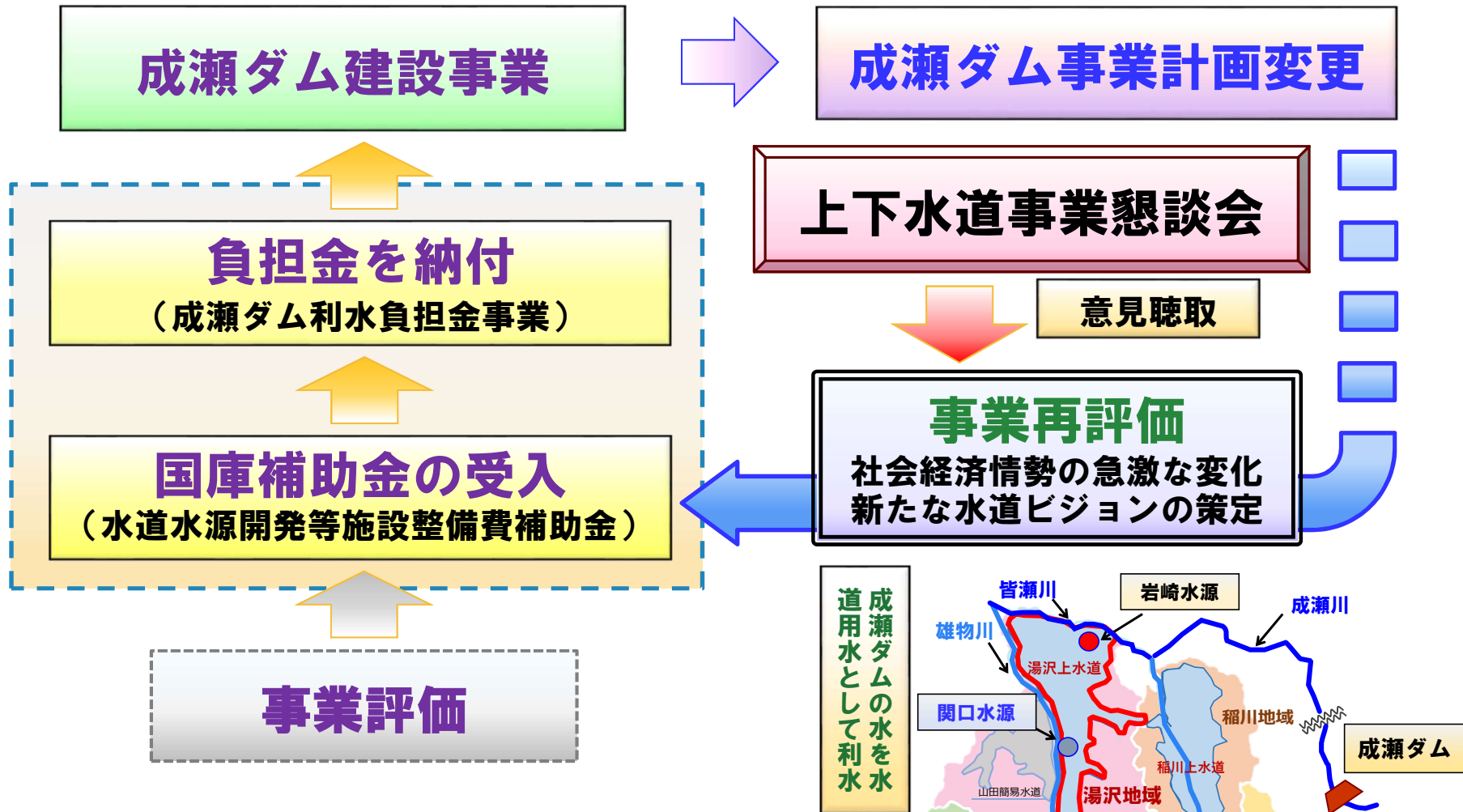


成瀬ダム利水負担金事業再評価 について

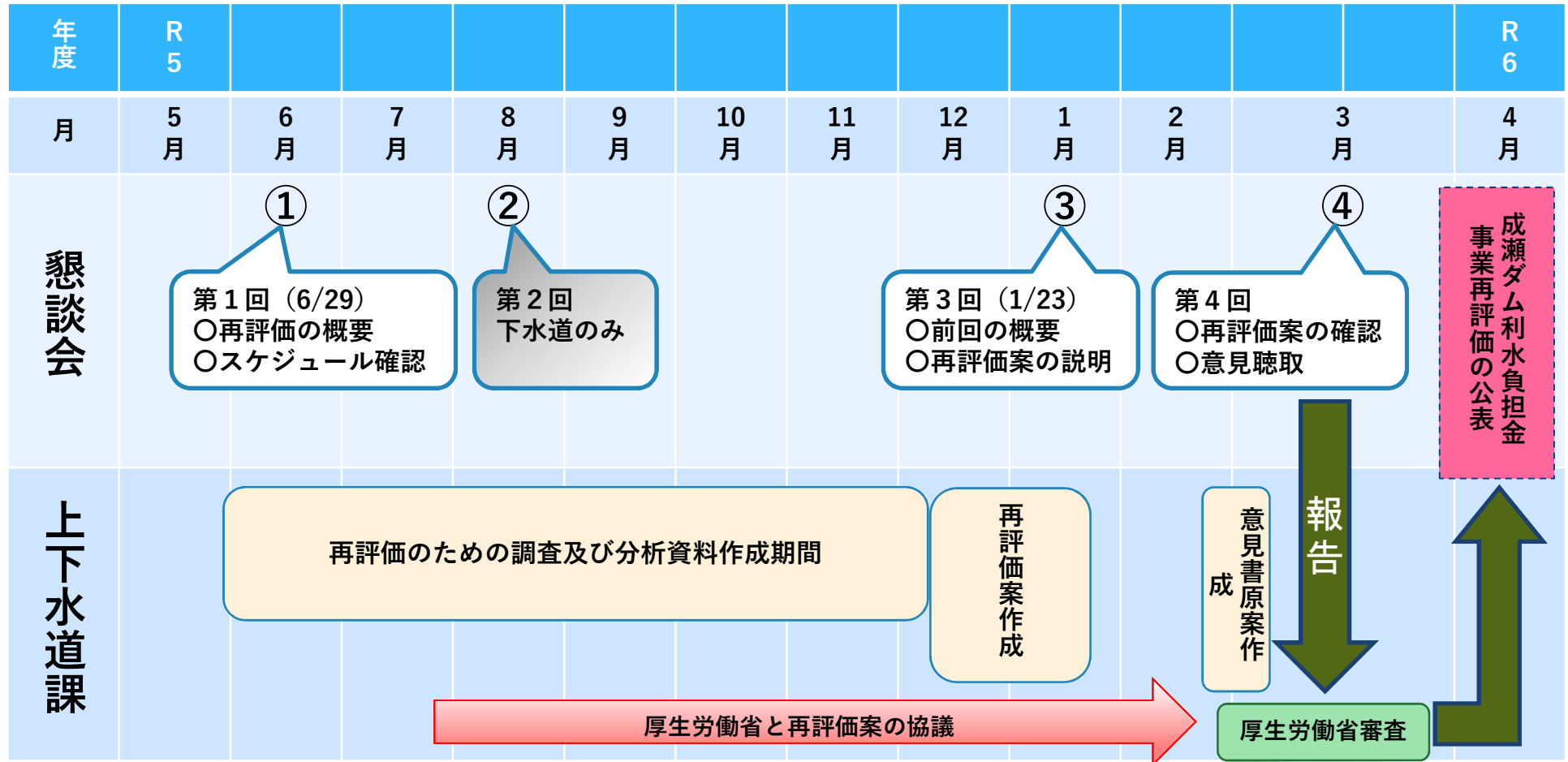


湯沢市 建設部 上下水道課

第1回懇談会の内容(事業再評価について)



事業再評価のスケジュールについて



成瀬ダム利水負担金事業再評価の進め方

再評価は事業実施者が以下の1～4の項目について調査・分析を行い、総合的な評価のもと対応方針をとりまとめます。その対応方針について、第三者からの意見を付して確定いたします。

1. 事業の概要

2. 事業をめぐる社会情勢等

3. 新技術の活用、コスト縮減及び代替案立案の可能性

4. 費用対効果分析

5. 対応方針

1～4を踏まえ、総合的に評価を行い、対応方針をとりまとめます。

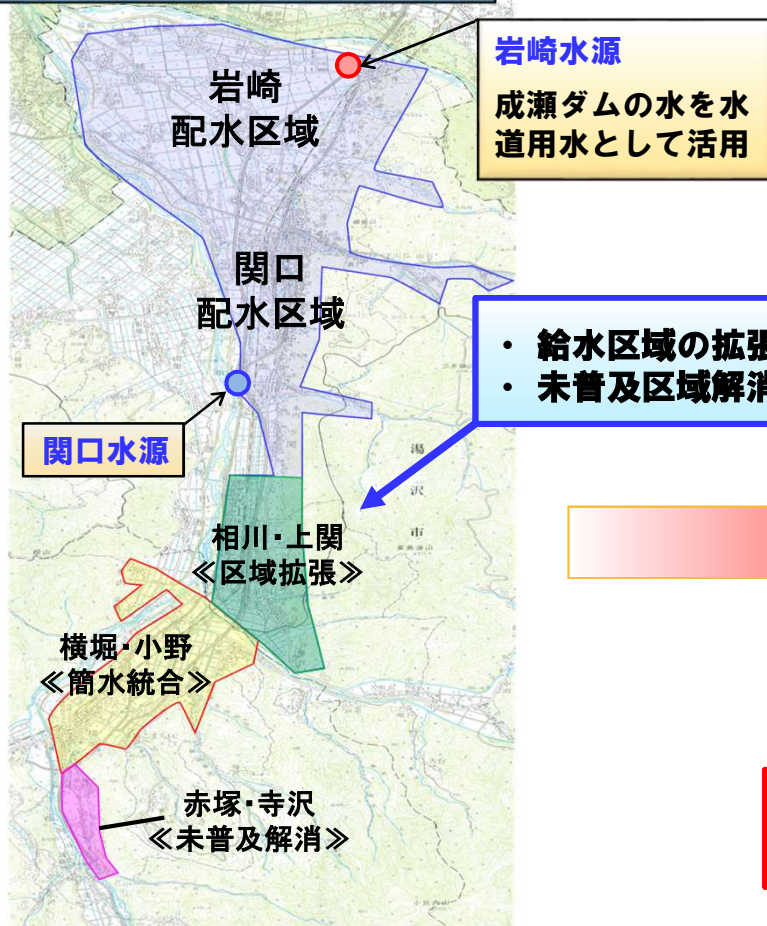
6. 学識経験者等の第三者の意見

事業の新規着手・継続・中止・休止について決定理由を付して示します。

1. 事業の概要 ①

(1) 湯沢上水道区域 事業計画の変遷

旧 水道ビジョン (H19) の計画



新 水道ビジョン (R4) の計画



- ・ 給水区域の拡張・統合
- ・ 未普及区域解消

- ・ 統合区域変更
(高松・三ツ村簡水)

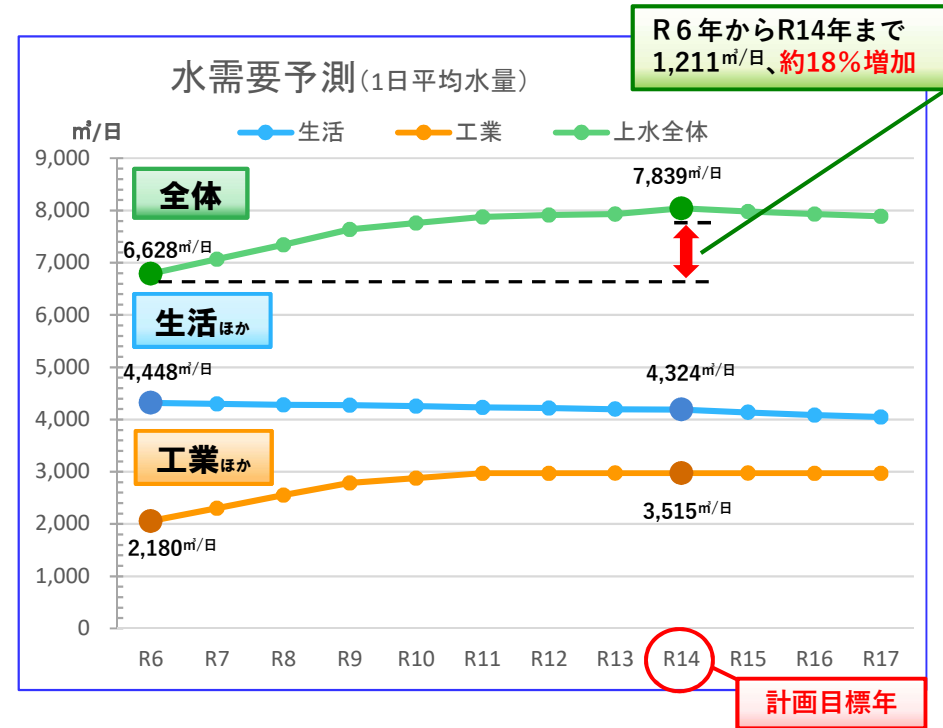
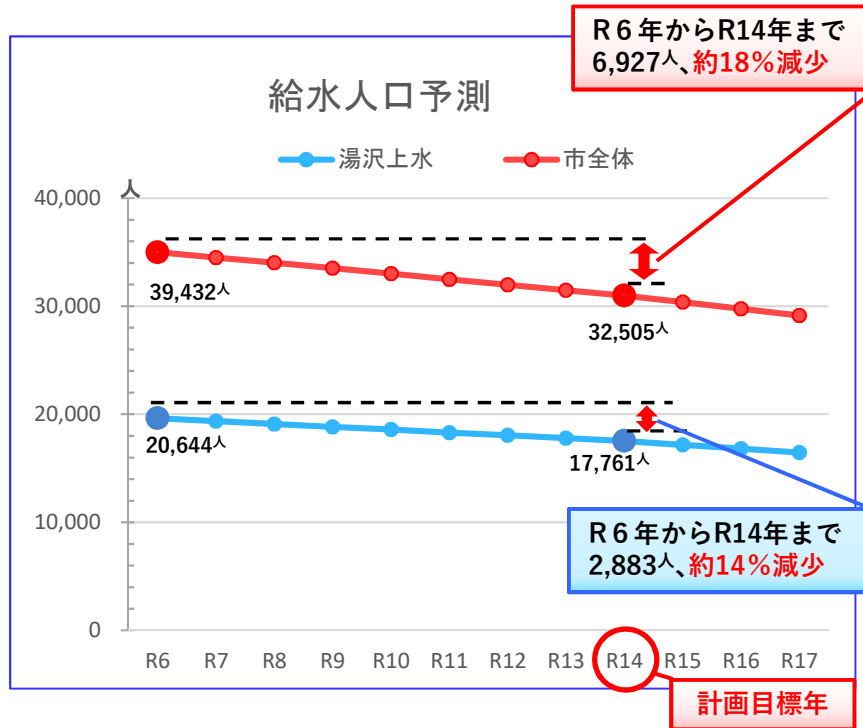
1. 事業の概要 ②

(2) 経緯

年 月	ダ ム 関 連 事 業	事 業 評 価 関 連
平成13年 5月	国)官報告示(国土交通省第887号)	
平成13年 7月	市)ダム利水に係る「水道事業変更認可」取得	ダム事業の事前評価実施
平成14年 4月	市)成瀬ダム事業へ利水参画	
平成19年11月	市)湯沢市水道ビジョン策定	市)事業再評価実施 (継続)
平成23年 5月	市)ダム利水水量の下方修正	
平成23年 8月		市)事業再評価実施 (継続)
平成26年 3月	国)基本計画変更(工期延長)	市)事業再評価実施 (継続)
平成30年 9月	国)ダム本体工事着工	
令和 3年 9月	国)基本計画変更(事業費変更、工期延長)	
令和 4年 3月		ダム事業再評価実施 (休止)
令和 5年 3月	市)新たな湯沢市水道ビジョン策定	
令和 6年 3月		ダム事業再評価実施

2. 事業をめぐる社会情勢等 ①

(1) 水需要の動向等



1) 「給水人口予測」

- ・人口減少に伴い、給水人口の減少が見込まれます。

2) 「水需要予測」

- ・誘致企業の拡大に伴う増加
- ・観光需要の回復による増加
- ・駅前開発等による増加

などが見込まれます。

2. 事業をめぐる社会情勢等 ②

(2) 水源水質の変化等

1) 湯沢上水 関口水源（伏流水・地下水）

湯沢上水のメインである関口浄水場に、3箇所ある水源のうち、2箇所では取水量が減少しています。

→ 岩崎水源にダム利水を求めることにより
取水量を確保

2) 高松簡水 水源（表流水）

大雨や融雪により、原水の濁りが激しくなるため浄水管理が難しくなっています。

3) 三ツ村簡水 水源（湧水）

施設が老朽化しているほか、水源（湧水）には安定した取水量の継続に不安があります。

湯沢上水道
区域へ統合



2. 事業をめぐる社会情勢等 ③

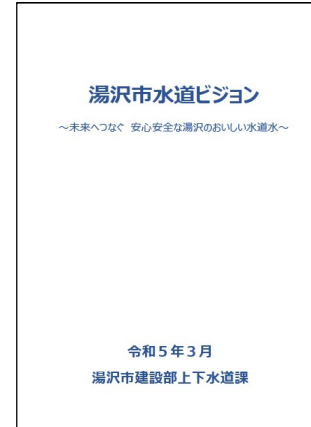
(3) 当該事業に係る要望等

成瀬ダム事業に対しては、現在も地元団体による要望活動が継続して行われています。



(4) 関連事業との整合

湯沢市総合振興計画及び湯沢市水道ビジョンでは、安定した水の供給などが求められており、成瀬ダム利水はその方針に沿うものです。



2. 事業をめぐる社会情勢等 ④

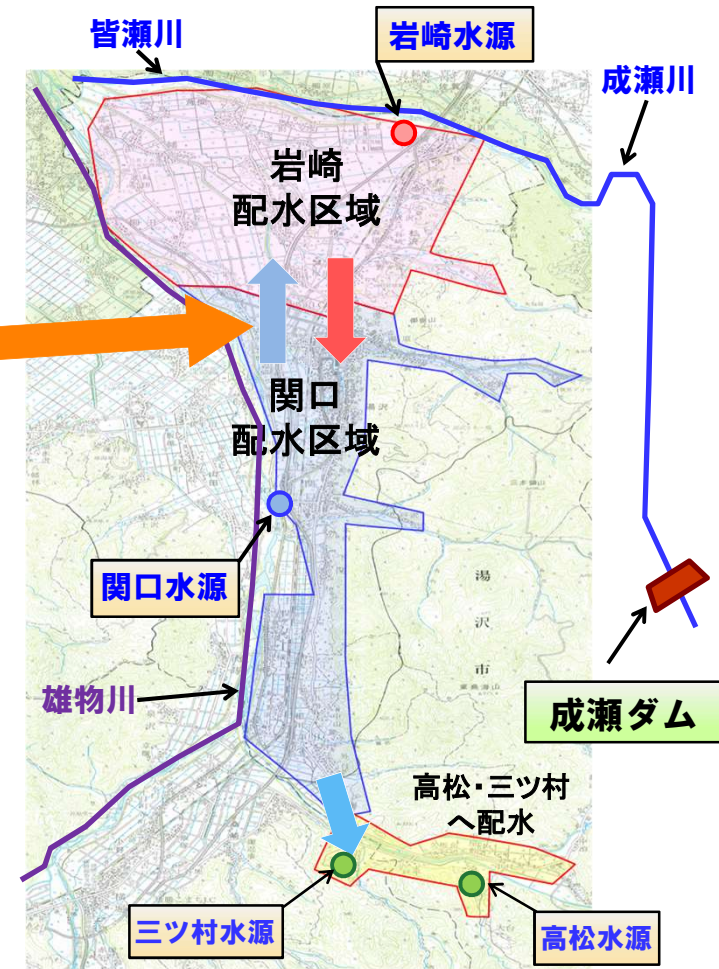
(5) 技術開発の動向

災害に強い施設整備のほか、予備力（取水量）を活用したバックアップ体制の確保など、上水道の強靱化を進めます。

岩崎水源の取水量が増加することにより、災害時に関口・岩崎配水区域間で相互に給水可能となるなど、強靱化が図られます。



耐震管の布設工事例



ダム利水活用後の計画給水区域

3. 新技術の活用、コスト縮減及び代替案立案の可能性 ①

(1) 新技術の活用の可能性

改築更新などが必要と判断された水道施設には、耐震化などによる強靱化や長寿命化、省エネルギー化などの新技術の活用の実用性を検討し、より効率的・効果的な整備を行います。



配水池の改修例

(2) コスト縮減の可能性

今後の水需要の動向を踏まえ、施設統合やダウンサイジングなどを検討するとともに、品質とコストの両面を重視して整備を行います。



ダウンサイジング布設例

3. 新技術の活用、コスト縮減及び代替案立案の可能性 ②

(3) 代替案立案の可能性

「成瀬ダム利水」の代替案として、「同等の効果（水量）を確保できる手法」について検討するものです。

本事業評価では「成瀬ダム利水」と「既存水源の改修・改築」に係る費用を比較・検討しています。

成瀬ダム利水による費用

- ・ ダム事業の負担金
- ・ 岩崎水源の取水、浄水場の整備
- ・ 水道施設維持管理費

安 価



既存水源の改修・改築による費用

- ・ 関口水源などの改修・改築費
- ・ 関口浄水場の拡張、管路の布設替
- ・ 水道施設維持管理費

高 価

「成瀬ダム利水」と「既存水源の改修・改築」の費用を比較した結果、「成瀬ダム利水」の方が安価となるため、より効率的であることを確認しています。

4. 費用対効果分析

費用対効果分析

本事業評価では、「成瀬ダム利水に係る費用」と「渇水及び自然災害などによる減断水被害額（便益）」を比較・検討しています。

成瀬ダム利水による費用

- ・ ダム事業の負担金
- ・ 岩崎水源の取水、浄水場の整備
- ・ 水道施設維持管理費

費用 (C)



渇水による減断水被害額

- ・ 生活用水被害額
- ・ 業務営業用水被害額
- ・ 工場用水被害額

自然災害などによる被害額

- ・ 地震による断水被害
- ・ 水質事故による被害

便益 (B)

「費用」と「便益」を比較した結果、便益が費用を上回るため、より効果的であることを確認しています。

5. 対応方針

対応方針

再評価において本市水道事業計画との整合性を踏まえ、費用対効果などを分析した結果、整備費用の抑制ができ、ダム利水による便益が費用を上回るの
で、ダム事業の選択が有利になるため、「**事業継続**」とします。

6. 学識経験者等の第三者の意見

学識経験者等の第三者の意見

次回の懇談会でご意見を頂きます

※頂いたご意見を事業再評価報告書に付して、厚生労働省へ提出します。